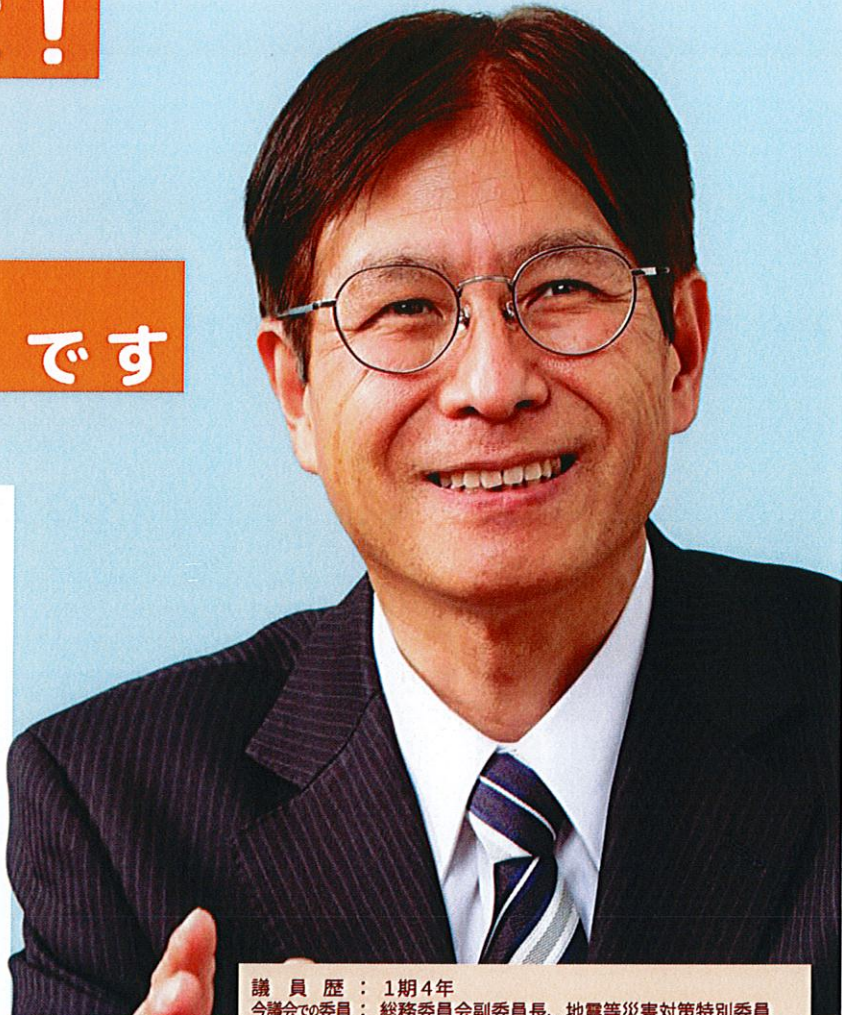


こんにちは！

井本

ゆういち です



一般質問の概要

JR布施屋駅と田井ノ瀬駅に トイレの設置を

ホームに屋根が無いので 大雨の時には傘をさしていても ずぶぬれになる

布施屋駅と田井ノ瀬駅で、古くなった木造駅舎から簡素な駅舎に建て替えられた際、トイレが撤去され、ホームの屋根も撤去されてしまいました。赤字ローカル路線で維持費がかかるため、列車内のトイレを利用するようにとのことです。しかし、駅前の住宅の方からは電車を降りた人がトイレを借りに来て困っているというお話も聞きました。

私たちが布施屋駅にて実施した利用者アンケートでは、駅のトイレについて、「必要」が11人「あったほうがいい」が13人で、合わせて24人、全体の75%です。ホームの屋根については「必要」が17人「あったほうがいい」が13人で合わせて30人、全体の94%でした。アンケートでは、「特に大雨の日が大変で、ホームで傘をさして待っているとずぶぬれになる。」という回答もありました。

JRの鉄道駅のことは言え、困っているのは市民です。他の市町村では、自治体が維持費を負担したり、駅の近くにコミセンを設置するなど工夫してトイレ問題に対処しています。

問：市としてJR西日本と協議し、利用者のためにホーム屋根及びトイレを設置するなど対応が必要であると思えます。公共性の高い駅の施設の重要性を認識していますか。都市建設局長：駅の利用状況やコスト削減の観点からやむを得ないと考えます。待合室や車両トイレ利用の周知をJR西日本に申し入れていきます。

市長：駅利用者にとって、利便性に資するものであると思うが、本来それを所有する鉄道事業者が実施するものと考えます。



傘をさして電車を待つ学生

アンケート配布中

議員歴：1期4年
今議会での委員：総務委員会副委員長、地震等災害対策特別委員
趣味：バイク、ドローン
抱負等：くらしの願いをまじめにまっすぐ市政に届けます。

コロナ禍による訪問制限の ケースワーカーの電話対応から、 計画に沿った訪問への切り替えを

長引くコロナ禍のもと、生活困窮者への対策として最後のセーフティネットとして生活保護行政の役割はいよいよ増しています。しかし、生活保護行政に欠かせない居宅への訪問がコロナ禍により緊急時以外は電話対応という状況が続いています。直接面談で丁寧に話ができなかったことから、十分に中身をわかってもらえなかったとの相談が何件も寄せられています。電話対応が主流ということから、保護受給者の状態把握と担当ケースワーカーの経験の積み重ねという点で支障をきたしているのではないのでしょうか。

問：ケースワーカーの訪問経験の少なさを埋める手立てはどのように行っていますか。コロナ禍での電話対応から、計画に沿った訪問に切り替えていく必要があるのではないのでしょうか。

福祉局長：訪問実績の少なさは、ベテランと経験の少ないケースワーカーという組み合わせで訪問をおこない、スキルを身につけることができる訪問体制をつくっていくよう努めています。家庭訪問は、生活状況の把握に欠かせないものです。新型コロナウィルス感染状況等を踏まえ、訪問活動に取り組んでいきます。



井本ゆういち 市議会だより

日本共産党和歌山市議員団

TEL 435-1113 FAX 421-4181

2022年11月 ホームページ、

Twitter、

Instagramは、

「日本共産党和歌山市議団」で検索を。
日々の各議員活動報告等を掲載しています。

日本共産党 市議会だより

9月定例議会報告

9月定例市議会が9月15日(木)～10月7日(金)までの23日間を会期として開かれました。初日は、8月24日にご逝去された宇治田清治議員を悼み黙祷を捧げました。8月の補欠選挙で当選した2名の議員の紹介後、尾花市長の3期目の所信表明が行われました。

最終日は、一般会計補正予算案や条例改正案、人事案件など議案18件と議員発議3件のすべてが原案どおり可決・同意されました。民主商工会からの請願は総務委員会で継続審査となりました。

日本共産党市会議員団は、議案18件中15件と議員発議2件に賛成。問題のある3件の議案については南畑さち代議員が、問題のある議員発議1件については森下さち子議員が、それぞれ問題点を指摘し反対討論を行いました。

反対討論で指摘した議案の問題点(南畑さち代議員)

公務労働より民間委託最優先の人件費削減には反対です。(議案第2号)

小学校給食民間委託事業、放課後児童健全育成事業(若竹学級)、第1共同調理場管理運営事業はいずれも民間への業務委託を更新する議案で、行政改革の一環として人件費を削減することが最優先されていることに賛成できません。

和歌の浦魅力向上施設整備の事業全体の検討が不明瞭です。(議案第2号)

和歌の浦周辺の観光案内、歴史文化の情報発信等の機能を備えた、拠点となる施設の整備を進めるためのものですが、取り組む姿勢に問題があり反対です。

中央卸売市場南用地への道の駅整備は不要不急の事業です。(議案第3号)

整備に係る基本計画の策定等の業務委託料ですが、今後の予定金額として約10億円とのこと。多額の費用をかけて道の駅を整備することの必要性が理解できないため反対です。

マイナンバーカード普及促進と生活支援は全く性格の違う事業です。(議案第17号)

マイナンバーカードの新規申請者と保持者に生活支援として3,000円のクオカードを支給するものですが、マイナンバーカード取得の意思のない方は支援の対象から外れることになり反対です。

一般会計補正予算の増額

90億746万2,000円を可決

こども医療費助成対象年齢を18歳まで引き上げるためのシステム改修費、物価高騰緊急支援給付金(住民税非課税世帯1世帯当たり5万円給付)、マイナンバーカード普及促進(3,000円クオカード支給)などの増額補正。

民主商工会からの請願は継続審査に

2016年に国連女性差別撤廃委員会は「日本の所得税法56条が家族従業女性の経済的自立を妨げている」と指摘し、所得税法の見直しを日本政府に勧告しています。家族従業者の働き分が給料としての必要経費として認められていません。業者配偶者・夫人の働き分を正当に認められるためにも、第56条の廃止を求める意見を国に届けてください・・・という請願です。

反対討論で指摘した発議第3号の問題点(森下さち子議員)

『北朝鮮のミサイル発射に対する厳重抗議と断固たる措置及び防衛体制の強化を求める意見書』について、北朝鮮のミサイル発射に対し、強く非難し抗議するという立場は全く異論のないところです。しかし、文案にはさらに“ミサイル対処能力の強化”や“防衛体制の強化”を求めるものとなっています。軍事的強化ではなく、国際社会は北朝鮮のミサイル問題を解決するため、外交戦略の再構築にこそ力を注ぐべきです。

日本共産党市会議員団、他の5議員の一般質問



ひめだ高宏 議員
総務委員・議会運営委員
I R誘致に関する特別委員

六十谷水管橋崩落事故の医療費補償を

問:「断水、条例で一律免責否定」の最高裁判決が出たことから、給水作業での圧迫骨折に対する医療費は補償すべきだと思うがどうですか。

答:断水による給水作業などの間接的な原因での負傷は、相当因果関係があるとは認められないことから補償の対象ではありません。



南畑さち代 議員
建設企業委員

和歌山城ホールのバリアフリー化 早急に改善を

問:歩道から玄関前への誘導ブロックの途切れ、平日の総合案内は無人など多くの問題があります。今後、当事者の意見を反映する市独自の条例が必要ではないですか。

答:条例によらず市独自の基準で推進してきました。今後も基準をさらに徹底していきます。



中村あさと 議員
建設企業委員・議会運営委員
地震等災害対策特別委員、広報委員

スクールソーシャルワーカーの体制充実 投票環境の拡充を

問:スクールソーシャルワーカーは、学校内に福祉専門家として配置されているが、体制不足など課題がある。充実が必要ではないですか。

答:現行を維持していきます。

問:投票環境の拡充が必要だと考えるがどうですか。

答:今後も協議していきます。



森下さち子 議員
経済文教委員
I R誘致に関する特別委員

旧統一協会に関わる問題は現在進行形

問:旧統一協会や関連団体が大问题となる中、本市でも関連団体の行事に当時の副市長が表敬訪問に応じたことから、全庁的に調査するべきではないですか。

答:行政の長としてかわりを持たないようにすべき団体です。全庁的に調査します。



さかくち多美子 議員
厚生委員会副委員長
広報委員

命を守る保健医療体制の強化を

問:コロナの感染爆発で保健所や医療がひっ迫し、入院が必要な病状でも入院できない事態が本市でも起こりました。市民の命を守るため、保健医療体制の抜本的強化を進めるべきではないですか。

答:地域の実情に応じた保健医療体制となるよう関係団体を通じて国に要望します。



和歌山市役所14階にて

撮影時のみマスクを外しています